

第4回例会報告（2018年3月発信）

「いつのことだか おもいだしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう」

リトミック広島支部の研修会場である、比治山大学短期大学部付属幼稚園は、明日17日（土）が卒園式です。

ようやく春の訪れを感じるこの頃、さまざまな思い出がよみがえるとともに、子どもたちの確かな成長をみることができます。

さて、広島支部では、第4回例会を3月4日（日）（比治山大学付属幼稚園ホール）に行いました。

今回も予想以上の多くの参加者があり、豊かな実りの講習会となりました。

講師は、坂本真理子先生。



今回も、高橋こころさんのレポートをお届けします。

「今回の研修会では、三要素である、「時間」「空間」「エネルギー」を意識して身体表現することができました。」



「前半は、拍を感じながら表現することを重点的に行いました。まずは、ピアノに合わせて歩いたり走ったりすることで感じとった拍の違いを表現しました。次にマリンバ、ティンパニー、太鼓の演奏を想像しながらそれぞれの違いを表現しました。音を動きに変換させるには、その音の速さと強さを感じ取り、表現に必要な空間の大きさを割り出すことが必要です。音楽に合わせて身体表現することを繰り返し行っていると、自然と聞こえてくる音楽から動きがイメージでき、難しく考えることなく表現を楽しむことができました。」

「また、リトミックの研修会に参加していくうちに、自然と『時間・空間・エネルギー』を意識する習慣が身についているのだと感

じました。」

「後半は、リズムパターンについて重点的に学びました。『どこかで春が』という楽曲を用いてのお話では、リズムによって力強さを感じたり、優しさを感じたりと感じ方は大きく変わるということを改めて実感しました。「とんねるくん」の絵本を用いての実践では、言葉の中にあるリズムを手拍子で表現し合いました。身近なところでも様々なリズムを感じられる楽しい遊びを教えてくださいました。リトミックは、あまり場所がなくても、またあまり時間がなくてもすることができると改めて感じました。保育や教育の現場で早速実践できそうです。」

「今回の坂本先生の研修会もリトミックの基本をじっくり学ぶことができ、リトミックを身近に感じられる楽しい時間でした。」

今年の例会も、皆様のおかげをもちまして、無事に終わることができました。また、次年度もお待ちしております。多数ご参加くださいませ。